

友輪

発行所 横濱市南区元町4丁目83番地 郵政番号233-8515
大山祇命神示教会本部
編集 〇〇〇〇
電話 045-731-5373
©大山祇命神示教会 2018

社会を正道へと導く 教えに生きる姿から

運命に重なる人生に 愛の儀

光壽信者参拝時、一年間、神から教えを学び、気づき、悟りを深めて、得られた心の成長の報告、御礼の時。その思いを託すのが「御礼御祈願書」であり、その心を神に届ける儀式が愛の儀です。光壽信者参拝時の期間中、神絵本部真実の光会館では愛の儀が連日行われています。

この世は、運命と重なる人生の、戸惑いこととなるもの、知識に頼る弊害です。誰にも、この世に必要とされた役立つ運命があり、その運命が、知識、学問が豊富でも、どうすればよいのか分からないことも多いものです。知識を頼り、想定外の結果に

年々重ねて迎えた光壽信者参拝時。毎年一月から歩みを進め、上向させずに上り詰めていくことに、開運人生が完成します。それは、着実に心の道を進み、気づき、祈願で自身のものに消化、吸収していき、悟りとなります。そこに、実感が修正されて、運命が引き出されます。開運を果たす人生となるのです。迎えた九月二十三日神聖誕生記念祭に当たり、神はこのように指導してくださいました。

時代の姿が大きく変わろうとする今、信者は家族で「教え」を学び、「真理」に生きる人として、人生を歩んでゆける「生きがい」を手にし、喜び多い人生を歩む人の心がここにあり

神示 この世は、人間があるべき心の姿を知って、五いの存在を、生かして生活すれば、自然と発展してゆく。努力を絶えずして、人生は完成しない。この世に欠けているものは、「真理」を生きた証として「心の道」に残して、次の人生に、心をつないでゆける。努力の限界を体験する人々が、今求められているのは、「運命」の力を生かすこと。心は迷い、悩みを深める。努力の限界を体験する人々が、今求められているのは、「運命」の力を生かすこと。心は迷い、悩みを深める。

環境変化に流されず 常に安定した心で

西日本豪雨 清浄の儀

七月に西日本を襲った記録的豪雨では、各地で甚大な被害に見舞われ、大難が小難に、無難に守られたと、感謝を深めている人も多いでしょう。環境変化がますます大きくなり、神が言われた今年、自然災害も、地震や火山の噴火、豪雨、豪雪などが繰り返されています。そのときに、教えを知らず、神を信じていない、祈願しながら心を安定させて、現実を受け止めて、的確な行動を取ることが大切です。そこに、その後の復旧も円滑に運ぶことができます。

神示 この世は、環境変化がますます大きくなり、神が言われた今年、自然災害も、地震や火山の噴火、豪雨、豪雪などが繰り返されています。そのときに、教えを知らず、神を信じていない、祈願しながら心を安定させて、現実を受け止めて、的確な行動を取ることが大切です。そこに、その後の復旧も円滑に運ぶことができます。



今は供丸光先生が神示をもって希望の光へ

社会の仕組みを知り 道の真理に浴ぐ心を

神は、その時期その時、期に必要なことを、神示する環境、神示教会を築かされたのが、供丸先生です。供丸先生の時代が、今も必要とされています。

神示 この世の仕組みを知り、運命を操る神の力を唱えて、「人生」歩む。供丸先生が「道の真理」に浴ぐ心を開き、祈願で自分のものにしたい。祈願で自分のものにしたい。祈願で自分のものにしたい。

夫婦の心が通い合い 子供の魂が安定へと

夫婦の心が通い合い、子供の魂が安定へと。子供が育つ環境、親が育てる環境、夫婦が育つ環境、親が育てる環境。夫婦の心が通い合い、子供の魂が安定へと。

神魂が宿る館を求め 人生に教えを生かす

神魂が宿る館を求め、人生に教えを生かす。信者が集まる場所、神が宿る場所。神魂が宿る館を求め、人生に教えを生かす。

ゆがみ、問題点が見える。つらさを感じ、苦しみを感じる。つらさを感じ、苦しみを感じる。つらさを感じ、苦しみを感じる。

信者一人一人が、神の教えを学び、実践する。信者一人一人が、神の教えを学び、実践する。信者一人一人が、神の教えを学び、実践する。

神示教会の価値を広く

自分も周りも仕合せに

信者とは、神から何かを与えてもらうために、籍を置いた人ではありません。自分に与えられた運命の力を信じ、神の教えを生きていく人です。一人一人の運命には、自分も、周りに仕合せにする力があります。神の教えを生活すれば、自分の存在を光らせる心の動きが取り、ご自然のうちに周りに良い影響を与えていきます。そして、生きがいにあふれた喜びの輪が広がっていくはず。

求めるものが見えて

神示教会は、神が下さる神示を基に、正しい生き方が学べる所です。神の教えに触れるほど、人生の歩むべき方向を的確に判断できる人になれるのです。



神示教会の環境を伝えて共に仕合せを

平成31年の教育体系 各種授業を有効に

教えから正しい在り方が

神示教会の主要な授業は、信者の道徳教育です。神が日々下さる神示から、社会の動向を捉え、その時々に必要な生き方をつかめる授業です。教主使御光生が神示を解説して下さる勉強会を、毎月一日、十五日、二十三日に開催。視聴会も、毎日

主軸になるのは 教主の神示解析

平成三十一年の授業編成は、光寿信者参拝時の後、年明けを待たずに実施します。神から教えを学べる環境を有効に活用していきましょう。

神示教会の主軸の授業は、信者の道徳教育です。神が日々下さる神示から、社会の動向を捉え、その時々に必要な生き方をつかめる授業です。教主使御光生が神示を解説して下さる勉強会を、毎月一日、十五日、二十三日に開催。視聴会も、毎日

家族がつながる喜び

身近な家族こそ、教会の教えを伝える重要な役割を担っています。教会の教えを学ぶことで、家族の絆が深まり、心を通い合わせることができるようになります。

従来、職員担当信者心の道徳教育は、終了し、教主による神示解析の授業の復習とともに、教えを生かすための実践編を実施します。

多角度の神示が 生き方を高める

神の教えの基本的な真理を学べるのが、信者心の勉強会です。仕合せの六つの花びらの真理に沿って、健康、仕事と、それぞれの角度から、神示を具体的に確認します。

午後二時に行ってきたものを、十時に集約して実施します。その中には、新たに開講する神奉仕員先生担当の信者心の勉強会もあります。基本を踏まえながら、その時期に大切な内容を学びます。神示編一と二は一つにまとめ、平成十五年以降の神示を教材として学ぶ授業となります。

全国統一の中継 午前十時に集約

全国統一の中継授業は、午前十時と午後二時に行ってきたものを、十時に集約して実施します。その中には、新たに開講する神奉仕員先生担当の信者心の勉強会もあります。

「信者でよかった」という感動が、愛ある生き方の輪を広げていきます。九人きょうだいの末の男性は、兄や姉たちが家を出てしまった後、一人で五十年の今日まで両親を見てきた自分を「損な人生だ」と思っていました。

愛ある環境を広げる

今年定年を迎えた男性は、六十歳の長寿の祝いとして、感謝の言葉を込めて、自分以外の家族全員が信者です。清らかな雰囲気の中で、三人の子供たちが語る感謝の言葉に感動。こんなに素直な心で育ててくれた妻にも感謝があふれました。その後、初めて教えに触れて、「もっと学びたい」と在籍を希望。第二の人生を歩み始めました。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

心のかけ橋

東京 山田智恵美 知人の勧めで購入した『美の心』の本。大人にも分かりやすく、とても楽しく読めました。多くの人が読んでほしい。経営している美容室に置いてほしい。うれい反応が次々にあります。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

息子から学ぶ 前向きな生き方

東京 大熊智子 生まれつき身体障害のある次男と、供の会に出席しています。体の不自由さを物とせず、生き生きと過ごす息子さんの姿に、息子が「自分も頑張りたい」と、大きな刺激を受けています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

学心と祈願で 穏やかな自分に

横濱市 高山寿子 私は、スパーハイパーをしています。以前は人と話すのが苦手で、先輩にも思いつくままに伝えられていました。何か困った時も相談できずに、悶々としています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

心が通う喜び

徳島県 植本悠詩 西日本豪雨で被害を受けた地域に、ボランティアに行きました。我が家も数年前の水害で床上浸水、苦勞がよく分かるので、少しでも役に立ちたいと思っていました。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

心明るく夢を持つて

供の会は、体に障害のある人たちが対象の行事です。月々の教えに触れ、参加者との交流を深めながら生き方を高めていきます。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

「体が不自由だから」という悲観的な心が取れた人。また、家族の温かい仲間が、体を支えてくれています。

三立の儀 七五三へ家族で

親子の絆も強く 五歳 七歳 三歳

親子が共に神遊りを奉養 (神総本部清明会館)

家族そろって記念撮影 (清明会館1階)

一人一人に記念品を (熊本傳光会館)

予約制 (家族ごとの儀式も随時実施) 公式サイトでご案内
お申し込みは神総本部儀式窓口 傳光会館へ

神総本部清明会館 集合形式の儀式
11月10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)
10:00~15:00 1時間ごと

全国傳光会館
11月を中心に実施
詳細は各館でご案内